

# カターレ富山 中期経営計画（2020-2022）

カターレ富山は、クラブ設立以来、地域社会に貢献し、「ふるさと富山」に必要な存在になることを目指しています。今回、その実現に向けて、クラブがJ2に定着し、地域社会に溶け込み、県民の皆さまからさらに愛されるための取り組みを、向こう3か年の中期経営計画として取りまとめました。

## 1. 10年後のありたい姿

理念 使命 トリプルミッション	領域	10年後のありたい姿
元気がよまの創造に貢献する 関わる人々に「喜び、感動、興奮」をお届けする	競技性 トップチーム アカデミー スクール	<ul style="list-style-type: none"> <li>J1に昇格し、観る人に「誇り」や「郷土愛」を感じさせられる存在となる</li> <li>子どもたちに「希望」や「憧れ」を抱かせ、「夢」を育てられる存在となる</li> </ul>
	社会性 シャレン！※	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域社会や様々なステークホルダーとの対話を通じ、社会問題や課題に関わり「とやま」として有益な価値を創り出す存在となる</li> </ul>
	事業性 to C to B	<ul style="list-style-type: none"> <li>「何度でも観たくなる」顧客体験を提供し、観る人にとって生活の一部となり、無くてはならない存在となる</li> <li>スポンサー企業の企業価値を向上させられる存在となる</li> <li>営業収入のポートフォリオを改善し、収益を安定化させている</li> </ul>
	経営基盤 ヒトづくり 施設整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域社会にとって有益な人材を育成する“人材バンク”となる</li> <li>地域社会の活性化やまちづくりに必要不可欠なスタジアム、トレーニング施設を整備・運営している</li> </ul>

※シャレン！3名以上の協働者と共通の価値をつくる社会活動

[参考] 中期経営計画の位置づけ

## 2. 3年後（2022年）の目標

トリプルミッション	方向性	目標	現状（2019年）	3年後（2022年）
競技性	<ul style="list-style-type: none"> <li>トップチームが活躍する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トップチームリーグ</li> </ul>	J3	J2定着 (2023をJ2で戦える順位)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>アカデミーからトップチームで活躍する選手を輩出する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アカデミー所属年代別日本代表選手</li> <li>スクール会員数</li> </ul>	0名 700名	1名 800名
社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの人と協力し、社会活動の質を高める「シャレン！」に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テーマ数</li> <li>協働団体数</li> <li>参加人数</li> </ul>	1テーマ 3団体 120名	5テーマ 10団体 500名
事業性	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタジアムホスピタリティの向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>8,000名超試合数</li> </ul>	0試合	4試合
	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタジアムの魅力を多くの人に届ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SNSフォロワー数</li> <li>JリーグID数</li> <li>ファンクラブ会員数</li> <li>平均入場者数</li> </ul>	20,000名 6,000名 3,030名 2,737名	50,000名 20,000名 6,000名 4,500名
	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラブの価値を高め、スポンサー企業に訴求し還元する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポンサー件数</li> <li>営業収入総額</li> <li>スポンサー収入</li> <li>チケット売上</li> <li>その他収入</li> </ul>	380社 5.1億円 3.4億円 0.3億円 1.1億円	500社 8.0億円 4.5億円 0.9億円 1.2億円

## 3. 2022年の目標達成に向けた主要な施策

競技性	社会性	事業性
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 超攻撃的サッカーを可能とする戦力補強・トレーニング環境整備</li> <li>② J2で活躍できる人材を育成できるアカデミー改革</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 医療費削減に向けた高齢者の健康教室</li> <li>② 練習グラウンドの芝カス利活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 富山を元気にするインターンシップ</li> <li>② スポンサーアクティベーションの推進</li> <li>③ データを活用した高度な顧客体験の提供</li> <li>④ 練習グラウンドの活用推進</li> </ul>
経営基盤		
<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒトづくり</li> <li>① 選手のセカンドキャリアサポート</li> <li>② 社会人基礎力養成のためのセミナー開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備</li> <li>・スタジアムの整備・運営の検討</li> </ul>	

※ 詳細は別紙をご参照ください